

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】平成 26 年 12 月 18 日 (2014.12.18)

【公開番号】特開 2012-134476 (P2012-134476A)

【公開日】平成 24 年 7 月 12 日 (2012.7.12)

【年通号数】公開・登録公報 2012-027

【出願番号】特願 2011-261133 (P2011-261133)

【国際特許分類】

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

H 0 5 B 33/14 (2006.01)

H 0 5 B 33/02 (2006.01)

H 0 5 B 33/12 (2006.01)

H 0 5 B 33/26 (2006.01)

【F I】

H 0 5 B 33/14 A

H 0 5 B 33/14 Z

H 0 5 B 33/02

H 0 5 B 33/12 E

H 0 5 B 33/26 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 10 月 27 日 (2014.10.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の電極と、第 2 の電極と、前記第 1 の電極と前記第 2 の電極に挟持された有機エレクトロルミネッセンス層と、を有する発光素子が設けられた第 1 の基板と、

前記発光素子と対向して設けられ、該発光素子の放射光のうち特定波長帯域の光に対して透過性を示す有色層と、

前記発光素子の放射光を遮光するように前記有色層の周辺部を囲んで設けられた光電変換素子と、が設けられた第 2 の基板と、を有し、

前記発光素子の放射光が前記第 2 の基板側から射出されることを特徴とする発光装置。

【請求項 2】

第 1 の電極と、第 2 の電極と、前記第 1 の電極と前記第 2 の電極に挟持された有機エレクトロルミネッセンス層と、を有する発光素子が設けられた第 1 の基板と、

前記発光素子と対向して設けられ、該発光素子の放射光のうち特定波長帯域の光に対して透過性を示す有色層と、

前記発光素子の放射光を遮光するように前記有色層の周辺部を囲んで設けられた光電変換素子と、が設けられた第 2 の基板と、

前記発光素子に電力を供給する発光制御回路と、

前記光電変換素子の起電力を充電する蓄電部と、を有し、

前記発光素子の放射光が前記第 2 の基板側から射出されることを特徴とする発光装置。

【請求項 3】

請求項 1 または請求項 2 において、

前記第 1 の電極は、アルミニウム、アルミニウムを含む合金、または銀の中から選ばれ

た材料を有することを特徴とする発光装置。

【請求項 4】

請求項 1 乃至請求項3のいずれか一項に記載の発光装置を用いた電子機器。

【請求項 5】

請求項 1 乃至請求項3のいずれか一項に記載の発光装置を用いた照明装置。